



キャベツひと玉の  
値段に敏感でありたい

# 目黒区議会議員 橋本しょうへい 区政レポート



ホームページ  
(公式)



Twitter

Vol. 26  
2023.3.19発行

橋本しょうへい事務所  
〒153-0065  
目黒区中町2-2-16-201  
Tel 080-5090-2560  
Mail info@shohel.tokyo

## コロナ後でバージョンアップ。 防災訓練、新たな試みも加えて復活します



五本木小での訓練。区のYouTube。

新たな試みとしては、参集指定職員等図上訓練を実施すること、総合防災訓練でオンライン参加ができるようにすることの2点。

参集指定職員等図上訓練に関しては一般区民の参加枠はありませんが、コロナ禍で規模を縮小して避難所運営訓練を実施した際に好評だったことから、別途日程を設けて行うことにしたようです。防災に関する勉強会に参加した際には「こういう訓練がとても効果的だ」と聞いただけでしたが、発災時には様々な事態に対処できるよう、ぜひ継続的に行なって欲しいと思っています。

目黒区が行う防災訓練はコロナ禍による中止や縮小が続いていましたが、今年は久しぶりに開催される見込みとなりました。



災害ボランティアで訪れた避難所。運営の大変さも聞いた(許可を得て撮影)

また総合防災訓練については、参加者が固定化してしまうという課題がありました。オンラインで行うことで、今まで参加できなかった方も積極的に巻き込んでいこうという意志が窺えました。

一般参加が可能な防災訓練については左下の図にまとめております。時期が近付いたら改めて区報やホームページでの案内が出されることと思います。

一般参加が可能な防災訓練		
訓練名	日時	会場
総合水防訓練	5/14(日)	中目黒公園
総合防災訓練	9/2(土)	オンライン(各150人定員×3回)
	9/3(日)	第一中学校
初期消火対策訓練	11/18(土)	中目黒公園
	9/3(日)	第一中学校
避難所運営訓練(7月~11月開催)	未定	大鳥中学校
	未定	上目黒小学校
	未定	月光原小学校
	未定	大岡山小学校

いざという時の備えとしても、ご興味があれば、ぜひご参加ください。

## 事業の見直し、木材の利活用 議会で質問、前向きな答弁にホッとひと息

2/20(月)区議会の一般質問で登壇し、2点尋ねました。



橋本しょうへい 議員  
役所内でも放映されている。

既存事業の優先順位の見直しについては、行政用語では「ビルド・アンド・スクラップ」とも言われます。限られた予算や人件費の中では、新たに何かを行うなら当然ながら何かを止めていかなければ立ち行かなくなります。

民間と違い、こうした決断は容易ではない印象。目黒区ではコロナ禍で思い切って止めたこともいくつかありますが、時代の変化への対応にはこうした取組みも必要です。

また木材の利活用については、鉄やプラスチックなどと比べてCO2排出量が低い素材であることから、以下4問を尋ねました。

- ①森林環境贈与税の交付が増える令和6年度以降、財源をどう活用するか。
- ②多摩産材は移動距離の視点でも環境負荷が低い。活用を検討できないか。
- ③木材はメンテナンスで長寿命化や雇用創出を図れる。どう対応するか。
- ④木材の利用促進に関する自治体の取り組みに対し、事業者や区民は協力する努力義務がある。どう周知するか。



地産地消も環境保全の一助に。

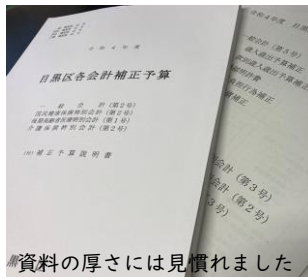
いずれも前向きな答弁を引き出すことができ、ホッとひと息。答弁の内容は目黒区議会中継で質疑の様子をご視聴頂けるほか、4月14日(金)発行予定の「区議会だより」でもお読み頂けます。



議会中継の録画も随時更新中。

# 今年度のお金の使途, 軌道修正 令和4年度 一般会計補正予算(第5号) など

地方自治体の議会では年度末を迎える前に例年、収入の変動や経費の過不足に対応するために補正予算について審議しています。



資料の厚さには見慣れました

今回の目黒区の補正予算、収入では大きなところで特別区民税が27億5千万円、指定寄付金が1億9千万円余りの増額補正に。支出では原油価格の高騰により区有施設などで3億円以上の増額で、減額となったのは私立保育園の定員割れやコロナ禍での事業の中止など。剰余金の多くは学校施設整備基金に積み立てることとなりました。

私が2/28(火)の企画総務委員会で尋ねた内容について、要旨を掲載します。

## 1. 区民税収入

景気後退を懸念していた中で増額補正は喜ばしいが、当初予算比で昨年以上の大きな乖離。23区の場合は一般の市町村と異なり、固定資産税や市町村民税法人の相当分は都区財政調整制度によって東京都が分配しており、区民税収は区である程度コントロールし得る貴重な財源。3年間を振り返り、区の認識は。

### <再質問>

区民税収増の要因は、特別区民税全体の65%を占める特別徴収給与分(区民の給料)が増えたからだという答弁。財源を確保し、行政サービスを維持するには現役世代にとって魅力的な街であることが大切だと思うが、区の展望は。

## 2. 指定寄付金

「指定寄付金」として1億9千万円余り、子ども・子育て応援寄付金に6千万円余りなど。ふるさと納税による財源流出などに対してモノを言う意味でも、財源を確保する意味で

# 带状疱疹ワクチン助成、4/1~ 3人に1人が発症。50代以上の方が対象

成人の9割がウイルスを保有し、3人に1人が発症と言われる带状疱疹。港区では先行してワクチン接種の補助制度がありましたが、目黒区でも4/1から実施されます。助成費用は生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン)が1回5,000円、不活化ワクチン(乾燥組み換え带状疱疹ワクチン)が1回10,000円。区内に住居登録のある50歳以上の区民が対象で、区内の契約医療機関で接種が可能です。詳細は4/1発行のめぐろ区報及びホームページに掲載されます。

も、アピールが必要と考えるが認識は。

## 3. システム改修

基幹系システム標準化対応で1億4,090万円、内部情報システム更改で1億6千万円の減額補正だが、作業の遅れはないか心配。国が示す令和7年のシステム標準化に間に合うか。



区役所の庭も、春は桜がきれい。

また法令上は国が財政措置をするはずだが、システム標準化にかかる多額の費用は国庫支出金から賄えるか。

## 4. プレミアム付き商品券事業

地域消費の活性化にどの程度寄与したか。今年度は紙とデジタルを併用したところ、デジタル商品券の利用可能店舗数は紙に比して少なかった。来年度にも行うのであれば、前回にキャッシュレス未対応だった店舗は二の足を踏むのではないか。

一時的な景気対策としてだけでなく将来に繋がる「賢い支出」となっているが、今後は

目黒区議会に関する今後の主な日程

3月22日(水)	本会議	13時~
4月12日(水)	企画総務委員会	10時~
	生活福祉委員会	10時~
	都市環境委員会	10時~
	文教・子供委員会	10時~
4月14日(金)	特別委員会	10時~
4月16日(日)	区議選告示	
4月23日(日)	区議選投票	

## 目黒区議会議員 橋本しょうへい プロフィール

1989(平成元)年6月6日神奈川県生まれ 埼玉県立熊谷高等学校、明治大学政治経済学部卒

(株)ダイエーを経て手塚よしお秘書 2019(令和元)年目黒区議会初当選 双子の兄弟

<所属>企画総務委員会、情報公開・個人情報保護審議会、環境審議会、区議会情報公開審査会

<趣味>空手(和道流、松濤館)、スキー <特技>手話 <好きな言葉>温厚篤実、一意専心

<好きなもの>みかん、麻婆豆腐、クラフトビール <尊敬する人>渋沢栄一、後藤新平